

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断 プロジェクト	① ながさき しまの創生プロジェクト			将来像	■本県離島地域において、全国のモデルとなるような地方創生の成功事例が数多く創出され、全国の離島地域や、県内の他地域に先行して社会減が大きく改善し、人口減少に歯止めがかかっている。
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課				
課(室)長名	梅田 真由美	総合計画 掲 載 頁	183頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
しまの人口の社会増減数	目標値①		▲510人	▲407人	▲305人	▲204人	▲102人	▲102人 (R7年)	しまの人口の社会増減数については、有人国境離島法施行前は約1,000人の社会減であったが、法施行後は改善傾向に転じているものの、令和6年は転入者が前年から166人減少し、前年の実績をさらに下回った。 しまの活性化に重要な役割を果たす雇用機会拡充事業の更なる活用の促進など、国の交付金等を最大限に活用しながら、関係市町と一体となって、引き続き各種施策に積極的に取り組んでいく。 ○達成率＝(基準値-実績値)/(基準値-目標値)
	実績値②	▲642人 (R1年)	▲901人	▲529人	▲608人	▲729		進捗状況	
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課	達成率 ②/①	0%	48%	10%	0%		遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断プロジェクト	② アジア・国際戦略			将来像	■本県ならではの歴史・文化や世界遺産等の価値が認知され、アジア諸国を中心に、海外での本県のプレゼンスが向上している。 ■海外からの観光客が県内各地を周遊し、地域や観光産業が活性化している。 ■県産品のブランド化や輸出拡大、新たな販路開拓が進み、生産者の所得が向上している。 ■優秀な外国人材が、安心して就労・生活できる環境が整い、定着し、産業や地域が活性化している。
所管課(室)	文化観光国際部 国際課				
課(室)長名	貝淵 裕幸	総合計画掲載頁	185頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
外国人延べ宿泊者数	目標値①		99万人	106万人	112万人	119万人	125万人	125万人(R7年)	令和6年については現在算定中であるが、令和5年の外国人延べ宿泊者数は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更されたことに伴い、水際対策が終了したことから、対前年比では約5倍に回復したものの、コロナ禍後の日本における地方の回復の遅れや海外からの直行便の復便の遅れ・各地域の就航状況などから、目標は未達成の状況である。 今後は、直行便が復便した中国、韓国をはじめ重点市場である東アジアを中心にインバウンドの誘客拡大を図るため、F I T向けにO T A・S N S等を活用した本県ならではの情報発信や、国際旅行博へのブース出展、観光商談会の開催のほか、旅行会社へのセールスなど、現地での積極的なプロモーションを展開する。
	実績値②	93万人(H30年)	7.4万人	11.4万人	54.5万人	算定中		進捗状況	
所管課(室)	文化観光国際部 インバウンド推進課	達成率②/①		7%	10%	48%	—	遅れ	

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
県産品（水産物、農産物・木材、加工食品・陶磁器等）の輸出額 ※基準値内訳：水産物2,700、農産物・木材771、加工食品・陶磁器等361 ※最終目標内訳：水産物5,000、農産物・木材1,565、加工食品・陶磁器等788	目標値①		5,499 百万円	5,837 百万円	6,609 百万円	6,980 百万円	7,353 百万円	7,353百万円 (R7年度)	県産品の輸出拡大とブランド化に向け、関係機関や民間企業と連携した展示会、フェア等の実施やプロモーション活動により、水産物、農畜産物、木材、加工食品・陶磁器を合計した輸出額は目標を達成し順調に推移している。 水産物では、韓国及び米国への養殖ブリの輸出が大幅に増加したこと等により目標を上回った。今後輸出の再開が見込まれる中国に対しては、販促プロモーションの実施等によるシェアの回復、取引拡大に取り組むとともに、東南アジア等中国以外の国や地域に対しても養殖クロマグロをリーディング商品とした海外販路開拓を推進して目標達成を目指す。
	実績値②	3,832百万円 (H30年度)	5,633 百万円	8,771 百万円	8,169 百万円	8,910 百万円		進捗状況	農畜産物ではシンガポールやタイ等への輸出ルート拡大により目標を上回った。引き続き、県内市場を経由したシンガポール等への輸出ルートの拡大に向けて現地商社と連携したフェアの実施や、海外における長崎和牛の販路拡大等に取り組む。 木材は、貿易相手国の経済状況の悪化や国産材の国内需要の高まりにより輸出量が減少した。国内外の状況を把握するため、国内の輸出機関の状況調査に取り組み、多様な販売ルートの確保に努める。
所管課(室)	文化観光国際部 物産ブランド推進課	達成率 ②／①		102%	150%	123%	127%	順調	加工食品・陶磁器は関係課・民間企業等と連携した県産品のプロモーションやテスト販売、現地バイヤーの招聘を通じて新たな商流を築き、目標を上回る輸出額を達成した。引き続き、民間企業等と連携した取組により目標達成を目指す。

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断プロジェクト	③ 新幹線開業効果拡大プロジェクト			将来像	■各地域で開業に向けた魅力づくりや観光資源の磨き上げなどの受入体制の構築が進んでいる。 ■新幹線駅周辺の新しいまちづくりが進み、にぎわいの拠点となるとともに、開業を活かした新たなビジネスや地域おこしが各地に波及している。 ■開業効果が沿線地域だけでなく、県北地域、島原半島地域、離島地域など、県内全域及び西九州地域に及んでいる。 ■九州のみならず、中国・関西方面との交流人口が拡大し、観光をはじめ様々な産業が活気づくとともに、新たな雇用が生まれ、人や地域が今以上に元気になっている。
所管課(室)	地域振興部 新幹線対策課				
課(室)長名	川口 正剛	総合計画掲載頁	187頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
J Rによる府県相互間旅客輸送人員 (関西・中国・福岡県～長崎県)	目標値①		—	基準値 +15%	2,305千人	2,305千人	2,305千人	2,305千人 (R7年度)	新幹線効果拡大に向け、J R九州や市町と連携した周年イベントや子供無料乗車会、観光列車の佐世保駅実証運行等を実施した結果、令和5年度実績は、開業年度の令和4年度から22%増と伸びたものの、目標値には届かなかった。要因としては、関西方面の目標達成率が約6割にとどまっており、2回の乗り換えが及ぼす心理的負担が想定以上に大きかったと推測される。今後も、西九州新幹線の効果を県内各地域へ波及させるため、安定的な新幹線利用者の確保と来県者の県内周遊促進への取組を引き続き実施するほか、SNS等を活用した情報発信にも取り組む。 ○達成率78%＝実績値1,812千人／令和5年度目標値2,305千人 なお、令和5年度から、「最終目標（年度）」を以下のとおり変更した。 ●変更箇所：「基準値+15%（令和7年度）」 ⇒ 2,305千人 ●変更理由：基準値である、令和3年度の府県相互間旅客輸送人員（関西・中国・福岡県～長崎県）実績「893,975(人)」が、現在のコロナ後の回復状況と大きく乖離していることから、目標値を上方修正するもの。
	実績値②	894千人 (R3年度)	894千人	1,482千人	1,812千人	算定中		進捗状況	
所管課(室)	地域振興部 新幹線対策課	達成率 ②／①	—	144%	78%	—		やや遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断プロジェクト	④ 健康長寿日本一プロジェクト			将来像	■県民が健康で長生きできる環境が守られ、健康長寿が延伸し、生涯現役社会となっている。 ■スポーツを通じた県民の健康増進が実現している。 ■子どもたちが運動に慣れ親しみ、大人になってからも、正しい生活習慣を維持している。 ■県民が生きていく喜びや張り合いなど生きがいを感じ、積極的に地域社会に参画している。 ■県民や行政、NPO・ボランティア団体、企業など多様な主体の参画による地域課題解決の取組が広く行われ、ともに支えあう地域となっている。 ■県産野菜・魚の販売を促進し、産地が活性化する。 ■県民も含めた観光客が観光地や観光施設、宿泊施設等のバリアフリー情報をしっかりと把握できる状況になっている。 ■高齢者や障害者等にとって快適でスムーズな旅行ができる環境になっている。
所管課(室)	福祉保健部 国保・健康増進課				
課(室)長名	江口 信	総合計画掲載頁	189頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
健康寿命	目標値①		—	男性73.21 女性76.32	—	—	男性73.71 女性76.82	男性73.71 女性76.82 (R7年)	健康寿命については、国において3年に1回公表しており、令和4年の結果が昨年12月に公表されたが、平成28年の基準年から男女ともに延伸（男性+0.41、女性+0.61）したものの、いずれも目標値に達していない状況。 目標に達しなかった要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により平均寿命が短くなったことが一定程度影響した可能性があると考えられる。 最終目標の達成に向け、「長崎健康革命」の4本の柱である「運動」「食事」「禁煙」「健診」を軸に庁内関係部局と連携を図りながら、プロジェクトの推進に取り組んでいく。
	実績値②	男性71.83 女性74.71 (H28年)	—	男性72.24 女性75.32	—	—		進捗状況	
所管課(室)	福祉保健部 国保・健康増進課	達成率②/①	—	男性98% 女性98%	—	—		やや遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断プロジェクト	⑤ スマート社会実現プロジェクト			将来像	■超高速・大容量通信を実現する第5世代移動通信システム（5G）などの次世代通信環境が県内で整備されている。 ■地理的・地勢的な条件不利を感じることなく、県民が、豊かで質の高い生活を送ることができている。 ■幅広い分野において、AI、IoT、ビッグデータなどのICTの利活用が進み、地域課題の解決による地域活性化、新産業・新サービス創出などが実現し、県内産業が活性化している。 ■AIやRPA等の活用による業務効率化や行政のデジタル化が進み、多様な行政運営が実現し、質の高い行政サービスが提供されている。
所管課(室)	企画部 デジタル戦略課				
課(室)長名	直塚 健	総合計画掲載頁	191頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
実用化された、ICTを活用したサービスや仕組みの数（累計）	目標値①		3件	6件	9件	12件	15件	15件 (R7年度)	本県では、様々な分野におけるICTの実装を促進するため、令和2年9月に産学官が連携する「ながさきSociety5.0推進プラットフォーム」を立ち上げ、ICTを利活用した課題解決手法の提案等を行っている。令和4年度まではICT等を活用して地域課題の解決を図る実証を支援するSociety5.0加速化補助金事業によって一定の実用化が図られたところであるが、令和5年度からは各分野・市町共通の課題などにテーマを絞り、プラットフォームにおける議論を活発化させ、更なる実用化を促進することとした。その結果令和6年度の「実用化された、ICTを活用したサービスや仕組み」の成果としては、令和3年度からの累計で13件となり、令和6年度の目標を達成した。今後も本県におけるSociety5.0の実現に向け、プラットフォームにおける県内各地域の潜在的課題の掘り起こしや県内の地場企業との連携等を図っていく。
	実績値②	0件 (R1年度)	1件	5件	9件	13件		進捗状況	
所管課(室)	企画部 デジタル戦略課	達成率 ②/①	33%	83%	100%	108%		順調	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断 プロジェクト	⑥ 人材確保・定着プロジェクト			将来像	■処遇改善や人材育成を含め、魅力的で良質な雇用・就業の場が拡大している。 ■産学官の連携が更に強化され、県内定着が進んでいる。 ■老若男女がライフステージ等に合わせた様々な働き方をしているほか、U I ターン者や外国人材を含め多様な人材が活躍している。 ■県内で育成された人材が県内の様々な産業を担い活躍し、県内産業が活性化している。
所管課(室)	産業労働部 未来人材課				
課(室)長名	松尾 由美	総合計画 掲 載 頁	193頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析	
県内高校生の県内就職率		目標値①	66.0%	66.5%	67.0%	67.5%	68.0%	68.0% (R7年度)	高校との連携による企業説明会や企業見学会の開催など、高校生等に県内企業の魅力を伝える取組や、キャリアサポートスタッフを中心としたきめ細かな就職支援を行った結果、令和6年度（令和7年3月卒業生）の県内就職率は71.7%（速報値）となった。	
		実績値②								61.1% (H30年度)
所管課(室)	産業労働部 未来人材課	達成率 ②／①	109%	104%	102%	106%		順調		
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析	
県内大学生の県内就職率		目標値①	44.0%	45.5%	47.0%	48.5%	50.0%	50.0% (R7年度)	大学生の県内就職率については、学生のニーズに合わせた就活イベントや大学と連携した取組などを実施した結果、令和7年3月卒の県内就職率は基準年並に戻した。一方で、全国的な人材不足のため、県外企業からのアプローチも活性化し学生には広い選択肢が提供されており、県内就職率は依然厳しい状況である。今後は、インターンシップから就職につなげる取組を強化するため、企業を直接見て体験するフィールドワーク等を通して低学年時から県内企業を知る機会を提供するなど、県内企業の魅力発信に取り組み、県内就職の増加に努めていく。	
		実績値②								41.0% (H30年度)
所管課(室)	産業労働部 未来人材課	達成率 ②／①	92%	93%	85%	84%		やや遅れ		
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析	
県内企業に対する採用力向上支援と求職者支援により新規就業が実現した者の数（新規就業者数・累計）		目標値①	340人	340人	340人	340人	340人	340人	1,700人 (R7年度)	コロナ禍で企業訪問の活動が制限された期間はオンラインやメール等を活用し、活動制限解除後は、より積極的な企業訪問等に取り組み、企業の採用に係る課題に応じたきめ細かな支援を行った結果、目標を上回る新規就業者数を実現することができた。 引き続き、企業訪問によるきめ細かな採用力向上支援とともに、訪問による企業ニーズの把握を踏まえて、オンライン就職フェアや企業での体験就労を通じた正規雇用への支援等に取り組むことで、県内企業の人材確保に寄与していく。
		実績値②								
所管課(室)	産業労働部 未来人材課、雇用労働政策課	達成率 ②／①	146%	135%	198%	187%		達成		

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【政策横断プロジェクト】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

政策横断プロジェクト	⑦ 災害から命を守るプロジェクト			将来像	■「公助」だけでなく、食料の備蓄等による「自助」とともに、近所の人と助け合う等の「共助」による事前防災の意識の向上と、安全確実な避難行動の実践。 ■避難所や福祉避難所を円滑に開設・運営でき、避難所における感染症対策を含めた良好な生活環境を確保。 ■要請に応じて、必要な箇所へ必要な各種支援チームを円滑に派遣し支援できる体制の確立。 ■災害に強い社会基盤の整備充実や自然災害に対するハード対策とソフト対策の一体的な推進、インフラの戦略的な維持管理・更新等の実現により安全・安心が確保されている。 ■防災や安全について理解し、自らの命を守るための行動ができるとともに、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる児童生徒が育っている。
所管課(室)	危機管理部 防災企画課				
課(室)長名	飛永 琢也	総合計画掲載頁	195頁		

プロジェクトの進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
風水害・地震などによる死者数	目標値①		0人	0人	0人	0人	0人	0人 (R7年度)	令和6年度には、特別警報が発令されるような、大規模な災害の発生はなかったが、台風や集中豪雨、林野火災など、災害の激甚化、多発化への懸念はますます高まっている。 また、令和6年1月の能登半島地震での孤立集落対策や避難所環境の向上対策などの課題を踏まえた防災対策の見直しを令和6年11月にとりまとめた。 こうしたことを踏まえ、風水害・地震などによる死者ゼロを目指していくため、各種訓練を通じた防災体制の整備、市町等と連携した避難体制の構築、自主防災組織力バース率の向上、消防団員の確保、基地対策と国民保護の取組の推進、県民の防災意識の向上等に努める。また、災害に強い社会基盤整備など国土強靱化を着実に推進し、ハード・ソフト両面から地域防災力の強化を目指していく。
	実績値②	0人 (R1年度)	5人	0人	0人	0人		進捗状況	
所管課(室)	危機監理部 防災企画課	達成率 ②/①	0%	100%	100%	100%		順調	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	長崎・西彼地域（長崎市、長与町、時津町、（西海市））					地域のめざす姿	新幹線開業を契機とし、長崎駅周辺部を中心に都市機能の基盤強化が図られるとともに、観光都市・産業の集積地に相応しい都市の活力が周辺都市にも波及し、“若い世代を中心に選ばれる”長崎・西彼地域
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（長崎振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	199頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
観光消費額（総額）	目標値①		1,621億円	1,653億円	1,684億円	1,716億円	1,747億円	1,747億円（R7年）	令和6年度実績は算定中。 令和5年時点では、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限の解除や訪日客を対象とした水際対策措置の終了等により、旅行需要は大幅に回復してきているものの、目標は未達成の状況である。 今後引き続き、地域資源を活用した魅力的な観光まちづくりや効果的な情報発信に取り組むことで、観光消費額を増加を図っていく。
	実績値②	1,507億円（H30年）	624億円	1,046億円	1,444億円	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		38%	63%	85%	—		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
製造業従事者一人あたり付加価値額	目標値①		16,805千円	16,922千円	17,039千円	17,157千円	17,275千円	17,275千円（R7年）	令和5年度及び令和6年度実績は算定中。 付加価値の向上に向け、企業の技術開発や設備導入、販路開拓などに対し、人的・資金的な面から支援を実施している。 令和6年度は、県内中小製造業の取引拡大等が伸び悩んだ一方で、世界的な脱炭素の潮流の中、県内でも半導体製造装置分野などグリーン成長分野の需要を獲得を目指す動きが活発化しており、半導体、航空機などの分野において、企業間連携による事業拡大、生産性向上への取組を支援し、県内企業への発注拡大、サプライチェーンの形成・強化を図った。引き続き、製造業の付加価値の向上に向け、取組んでいく。
	実績値②	16,452千円（H30年）	11,284千円	10,032千円	算定中	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		67%	59%	—	—		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		74人	150人	227人	304人	382人	382人（R7年度※）	第一次産業の新規就業者を増加させるための取組として、水産業については、県内外の求職者や高校生を対象とした就業支援フェアやオンライン就業相談会を開催するなどした。 また、農業については、就農希望者を対象としたオンラインセミナー及び産地見学ツアー相談会を開催し、就職就農相談フェア（主催：長崎県農業法人協会）を支援したほか、就農意欲醸成に向けて県内農業系高校の学生を対象とした合同研修会の開催等を実施した。 林業については、森林の仕事ガイダンス（主催：長崎県森林組合連合会）を支援すると共に、高校生等への林業体験授業により仕事としての興味を惹きつけ、新規就業につなげた。 上記の取組により、目標値を達成することができた。 引き続き各種施策に積極的に取り組んでいく。
	実績値②	68人（H30年度）	78人	150人	235人	327人		進捗状況	
	達成率②／①		105%	100%	103%	107%		順調	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	県央地域（諫早市、大村市、（東彼杵町）、（川棚町）、（波佐見町））					地域のめざす姿	新幹線開業を活かした魅力あるまちづくりによる賑わいの創出を目指し、力強い産業と雇用をつくり出し誰もが住みやすく活力にあふれる県央地域
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（県央振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	205頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
製造業従事者一人あたり付加価値額	目標値①		22,377千円	22,532千円	22,688千円	22,845千円	23,002千円	23,002千円 (R7年)	令和5年度及び令和6年度実績は算定中。 付加価値の向上に向け、企業の技術開発や設備導入、販路開拓などに対し、人的・資金的な面から支援を実施している。 令和6年度は、県内中小製造業の取引拡大等が伸び悩んだ一方で、世界的な脱炭素の潮流の中、県内でも半導体製造装置分野などグリーン成長分野の需要を獲得を目指す動きが活発化しており、半導体、航空機などの分野において、企業間連携による事業拡大、生産性向上への取組を支援し、県内企業への発注拡大、サプライチェーンの形成・強化を図った。引き続き、製造業の付加価値の向上に向け、取組んでいく。
	実績値②	21,907千円 (H30年)	21,939千円	22,749千円	算定中	算定中		進捗状況	
	達成率②/①		98%	100%	—	—		順調	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		142人	284人	425人	566人	707人	707人 (R7年度※)	農業においては、市町、農協、農業高校、農業大学校及び新規就農相談センターと連携し、就農支援制度の紹介等で就農意欲を喚起したほか、就農希望者の円滑な就農に向けて、就農準備資金・経営開始資金の活用、技術習得に係る支援、就農関係の情報提供等を行った。 林業においては、高校生を対象にキャリア教育セミナーやインターンシップ受入れによる施設見学、機械の操作研修等を行い就労意欲の喚起による新規就労者の確保を図った。 以上の取組みにより、令和6年度の第1次産業就業者数は622人となり令和6年度の目標を達成した。 引き続き、目標達成に向け各種施策を継続していく。
	実績値②	136人 (H30年度)	146人	329人	490人	622人		進捗状況	
	達成率②/①		102%	115%	115%	109%		順調	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
スポーツ合宿参加者数	目標値①		841人	875人	910人	946人	984人	984人 (R7年度)	昨年度は、例年熊本県で開催されていたローイング競技の大会が熊本で開催されたことで本明川水上競技場において300人超の規模の合宿が行われたが、令和6年度は大会会場が再び熊本県となったことで本県での合宿が行われなかったほか、昨今の交通費や宿泊費の高騰も影響してか、関西圏の大学等による合宿が令和6年度は行われなかったこともあり、昨年度より実績減となったため、目標値達成には至らなかった。 今後、令和6年度に(公財)日本ローイング協会の公認コースの認定を受けた本明川水上競技場を活用し、さらに引き続き合宿地としての利用促進を図る。
	実績値②	748人 (H30年度)	274人	398人	755人	469人		進捗状況	
	達成率②/①		32%	45%	82%	49%		遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	島原半島地域（島原市、雲仙市、南島原市）					地域のめざす姿	魅力ある地域資源を活かして、国内外から人を呼び込み、賑わいにあふれ、農業や観光業などの地域産業が力強く発展し、若者から高齢者まで、住民が安心して生き生きと暮らす活気あふれる島原半島
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（島原振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	211頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		226人	451人	676人	902人	1,129人	1,129人 (R7年度※)	農業では、島原農業高校との連携会議における就農支援対策の情報共有、就農希望者の会「若葉の会」や進路ガイダンスでの就農意欲喚起を行うとともに、就農希望者に対する相談会や「A産地部会、直売所等の定年帰農や女性農業者等の就農状況を確認することにより新規自営就農者82人、新規雇用就業者111人を確保することができた。 林業では、森林の仕事ガイダンスへの参加や新規に認定林業事業体を認定したことにより、新規雇用就業者3人を確保することができた。 水産では、島原市・雲仙市・南島原市の各漁業担い手確保推進協議会等と連携し、就業対策及び情報確認を行うことにより、新規漁業就業者11人を確保することができた。 新規就業者数は順調に増加しており、今後も目標達成に向けた取組を継続していく。
	実績値②	200人 (H30年度)	284人	512人	731人	938人		進捗状況	
	達成率②/①		125%	113%	108%	103%		順調	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
農業所得1,000万円以上が可能となる経営規模に達した経営体数	目標値①		298経営体	356経営体	414経営体	472経営体	532経営体	532経営体 (R7年度)	支援対象として雇用型経営への転換、農業所得1000万円規模を目指す農業者をリストアップした。また、農業経営基礎講座の開催や個別課題に対応する専門家派遣等による支援、補助事業や制度資金活用による規模拡大、栽培技術等の向上により目標を達成した。 今後も目標達成に向けた取組を継続していく。
	実績値②	234経営体 (R1年度)	302経営体	361経営体	428経営体	486経営体		進捗状況	
	達成率②/①		101%	101%	103%	102%		順調	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
観光消費額（総額）	目標値①		393億円	394億円	395億円	396億円	397億円	398億円 (R7年)	令和6年度実績は算定中。 島原市では、令和6年10月の島原城築城400年記念イベントに合わせてブルーインパルス展示飛行や令和7年3月の雲仙岳災害記念館（がまだすドーム）のリニューアルなどを通じて誘客に取り組んだ。 雲仙市では、ほっとふっと105や橋神社など多くの観光スポットを中心に誘客を進めており、雲仙温泉街周辺では、これまでのライトアップやプロジェクションマッピングなど新たな取組を実施した。 南島原市では、廃線跡地を利用した自転車歩行者専用道路の整備によるサイクルツーリズムの推進に合わせて令和7年3月に第1回ツール・ド・南島原が開催されるなどの取組を実施した。 今後も目標達成に向けた取組を継続していく。
	実績値②	348億円 (H30年)	229億円	303億円	412億円	算定中		進捗状況	
	達成率②/①		58%	76%	104%	—		順調	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	県北地域（佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町）					地域のめざす姿	西九州自動車道や国際クルーズ拠点等を活かし、西九州の玄関口として多くの人や物の流れを取り込み、多様な産業が発展する活力ある県北地域
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（県北振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	217頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
観光消費額（総額）	目標値①		1,420億円	1,429億円	1,440億円	1,450億円	1,460億円	1,460億円（R7年）	令和6年度実績は算定中。 令和5年度は、観光消費額1,225億円となり、目標値を下回っているものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行や全国旅行支援の効果、各地区で中止となっていたイベントの再開などの効果もあり、2年連続の増加となった。 令和6年度においては市町の観光まちづくりに対する補助や、佐賀県との連携による「肥前やきもの圏」の陶磁器文化を共有する関係市町・観光関係団体等と連携した周遊促進等に取り組んだ。引き続き「みんなで磨く！観光まちづくり推進事業補助金」を活用し、各市町で観光コンテンツの造成、磨き上げを行い自走化へむけた取組を支援していく。
	実績値②	1,370億円（H30年）	743億円	1,023億円	1,225億円	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		52%	71%	85%	—		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
製造業従事者一人あたり付加価値額	目標値①		7,835千円	7,889千円	7,944千円	8,000千円	8,057千円	8,057千円（R7年）	令和5年度及び令和6年度実績は算定中。 付加価値の向上に向け、企業の技術開発や設備導入、販路開拓などに対し、人的・資金的な面から支援を実施している。 令和6年度は、県内中小製造業の取引拡大等が伸び悩んだ一方で、世界的な脱炭素の潮流の中、県内でも半導体製造装置分野などグリーン成長分野の需要を獲得を目指す動きが活発化しており、半導体、航空機などの分野において、企業間連携による事業拡大、生産性向上への取組を支援し、県内企業への発注拡大、サプライチェーンの形成・強化を図った。引き続き、製造業の付加価値の向上に向け、取組んでいく。
	実績値②	7,673千円（H30年）	8,743千円	6,787千円	算定中	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		111%	86%	—	—		遅れ	

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		185人	372人	559人	748人	937人	937人 (R7年度※)	令和6年度の新規漁業就業者数は、目標値42人に対し、実績が90人で目標を達成できた。目標達成の要因として、まき網等の雇用型漁業の従事者の増加の影響が考えられた。引き続き、「ながさき漁業伝習所」と連携した情報発信による呼び込みや、県主催の就業イベントに通じたマッチング、高校生の漁家派遣研修、就業前の技術習得研修等に取り組みを進めるとともに、移住者や新規漁業就業者を地域一体となって受け入れ体制の構築を図っていく。
	実績値②	143人 (H30年度)	201人	403人	559人	744人		進捗状況	農業においては、就農者目標97人（農92人、林5人）実績95人（農91人、林4人）であり、目標には農業1名、林業1名の計2名届かなかった。目標値に届かなかった要因として、農産生産資材価格高騰等の影響から就農に係る費用負担が大きく、近年では、就農相談件数が減少しているためと思われる。しかし、「JA産地部会との連携や「JAながさき西海トレーニングファーム」の運営支援、就農希望者に対する計画作成支援等の取り組みにより、48名の新規自営就農者の確保につながった。今後も産地自らが後継者を呼び込む産地主導型就農ルートの強化を図っていく。また、新規雇用就農者については43名であった。
	達成率 ②／①		108%	108%	100%	99%		やや遅れ	林業においては、林業経営体の求人申込や高校生を対象とした林業体験学習会を支援することで新規就業者の確保を図った。今後も林業体験研修会の実施支援等により林業をPRし、新規就業者の確保に取り組む。

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	五島地域（五島市、新上五島町、（小値賀町））					地域のめざす姿	しまの内外で人・モノの交流が活発に行われ、椿や世界遺産をはじめとする優れた地域資源を活かした産業振興・観光振興や地域コミュニティの活性化等の各分野で多様な人材が活躍する五島列島
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（五島振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	225頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
人口の社会増減数	目標値①		▲224人	▲179人	▲134人	▲89人	▲45人	▲45人 (R7年)	令和6年においては、雇用機会拡充事業による雇用の場の創出、高校生を対象とした企業説明会等の若者定着施策、ワーケーション等による関係人口拡大施策等を実施したものの、移住者の減少等による転入者の減少、学校の統廃合等による転出者の増加等の理由により社会減が拡大した。 今後も各種施策を継続して取り組んでいく。 ○R6達成率の計算 $(\blacktriangle 299 - \blacktriangle 178) / (\blacktriangle 89 - \blacktriangle 178) \Rightarrow$ 計算結果がマイナスのため「0%」とする。
	実績値②	▲178人 (R1年)	▲377人	▲141人	▲118人	▲299		進捗状況	
	達成率②／①		0%	100%	136%	0%		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		80人	163人	246人	330人	414人	414人 (R7年度※)	農業では、新規就農希望者へ「新規就農者育成総合対策」等の支援制度を説明し、就農計画作成等の各種就農支援を市町と連携して実施したところだが、新規自営就農者の目標20人に対して10人、新規雇用就業者の目標25人に対して19人の計29人となった。引き続き、就農希望者への各種支援や情報提供により新たな担い手を確保する。 林業では高校生へ農林水産業説明会等において、林業の仕事内容や魅力を紹介するほか、SNSでの地域情報発信により林業就業につなげる取組を行った。目標数3人に対して2人の実績となっており、引き続き、担い手確保の支援を行う。 水産業では、地元出身者のほか、若年層を中心に県の漁業技術実践研修を通してIターンで新規就業した者も見受けられ、内訳としては釣り漁業への就業が18人、大中型まき網漁業への就業が14人など令和6年度の計画36人に対し、47人の新規就業者を確保した。 今後も各種施策を継続して取り組んでいく。
	実績値②	81人 (H30年度)	72人	166人	280人	358人		進捗状況	
	達成率②／①		90%	101%	113%	108%		順調	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
観光消費額（総額）	目標値①		136億円	136億円	137億円	137億円	138億円	138億円 (R7年)	令和6年度実績は算定中。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に加え、全国旅行支援、県市の旅行割引、連続ドラマ等メディアへの露出、宿泊施設の新規オープン等により観光客が増加し、観光消費額増に繋がった。 また、県・市町・観光関係団体連携による、着地型商品の造成やおもてなし力の向上、情報発信等の取組についても、観光客の誘客及び滞在時間延長に寄与した。 今後も各種施策を継続して取り組んでいく。
	実績値②	132億円 (H30年)	67億円	106億円	134億円	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		49%	77%	97%	—		やや遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	杵岐地域（杵岐市）					地域のめざす姿	誰一人取り残さない。協働のまちづくり。 人口が減少しても、持続可能で豊かに暮らせる社会をつくる。
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（杵岐振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	231頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
人口の社会増減数	目標値①		▲115人	▲92人	▲69人	▲46人	▲23人	▲23人 (R7年)	有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業により、新たな雇用の場を創出・確保するとともに、企業説明会や企業訪問ツアーなどの若者の地元定着に向けた取組を実施した。 また、移住相談会のほか、杵岐市の知名度向上も狙ったオンライン移住セミナーを開催する等、移住者支援にも力を入れてきた。 このような取組により、昨年度と比較すると社会減は抑えられたが、高校生の島外進学者が増加するなど、目標は未達成となった。今後とも市と連携しながら若者の地元定着や移住者獲得に向けた取組を推進していく。 (▲207－▲80)/(▲46－▲80)⇒異常値（マイナス）となるため「0%」とする。
	実績値②	▲80人 (R1年)	▲176人	▲153人	▲228人	▲207人		進捗状況	
	達成率②／①		0%	0%	0%	0%		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		35人	71人	106人	143人	179人	179人 (R7年度※)	農業では、県、市、農委、農協で毎月打合せを行う担い手支援センター定例会において、移住・就農相談情報の共有、研修受講検討、新規就農検討等を行い、国や農協の支援制度や研修制度を通じて新規就農者の確保に取り組んでおり、引き続き、確保・支援を図る。 水産業では県、市、漁協、漁業者で組織する杵岐市漁業新規就業促進協議会において、水産業就業支援フェア等による漁業就業希望者の呼び込み、漁業技術習得研修への支援等により就業者確保に取り組んでおり、引き続き新規漁業就業者の確保を図る。
	実績値②	35人 (H30年度)	34人	54人	96人	124人		進捗状況	
	達成率②／①		97%	76%	90%	86%		やや遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
まちづくり協議会設置件数	目標値①		14団体	18団体	18団体	18団体	18団体	18団体 (R7年度)	設立に至っていない3団体については、地域の規模が大きいことで役員選出が課題となるなか、集落支援員の配置や自治会役員への説明会を開催するなど協議会設立に向け引き続き取り組んでいる状況。 今後も杵岐市と連携を図りながら、協議会設立に向けての支援を継続するとともに、地域住民の一層の参画を促していく。
	実績値②	3団体 (R1年度)	13団体	14団体	15団体	15団体		進捗状況	
	達成率②／①		92%	77%	83%	83%		やや遅れ	

施策の進捗状況調書（令和7年度実施）【地域別計画】

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025における位置付け

地域別計画	対馬地域（対馬市）					地域のめざす姿	大自然の恵みや大陸との交流の歴史など、対馬特有の財産を活かした産業活性化により地域経済がうまく循環し、全ての島民が安心して暮らし続けることができる自立したしま
所管課(室)	地域振興部 地域づくり推進課（対馬振興局）	課(室)長名	梅田 真由美	総合計画掲載頁	237頁		

地域別計画の進捗状況

指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
人口の社会増減数	目標値①		▲169人	▲135人	▲101人	▲68人	▲34人	▲34人 (R7年)	人口の社会増減数の令和6年度実績は、新型コロナウイルス感染症等により、基幹産業である観光業が影響を受けた令和3年度から改善されたものの、島外の高校や大学への進学などにより▲214人と未達成となった。 これまでの人口減少に対する取組として、令和4年度から「対馬定住支援ネットワーク連携窓口」を開設し、移住希望者の相談対応や情報発信等を積極的に実施した結果、対馬市への移住者は増加傾向にある（令和6年度実績141人）。今後も市や関係機関、民間事業者と連携した取組を進めていく。 ○達成率の計算 ▲214－▲360/▲68－▲360×100＝50%
	実績値②	▲360人 (R1年)	▲352人	▲234人	▲251人	▲214人		進捗状況	
	達成率②／①		48%	56%	42%	50%		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数（累計） ※最終目標：R3～R7年度累計	目標値①		89人	181人	274人	371人	467人	467人 (R7年度※)	水産業については、「漁業と漁村を支える人づくり事業」を活用して漁業就業希望者に対する説明会や研修等を実施した。 農業については、就農希望者に対する相談活動や技術面等の支援を実施した。また、林業については、「対馬市お仕事説明会」等に参加したものの、令和6年度までの新規就業者数は181人となり、令和5年度実績に比べ増加したが、目標未達成となった。今後は各種相談会における一次産業の魅力周知などを通じ、就業者の掘り起こしを進める。
	実績値②	79人 (H30年度)	56人	105人	139人	181人		進捗状況	
	達成率②／①		62%	58%	50%	48%		遅れ	
指標		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	進捗状況の分析
国内外観光客実数	目標値①		285,000人	330,000人	420,000人	500,000人	600,000人	600,000人 (R7年)	市や島内事業者等と連携した観光満足度調査及び事業者へのフィードバックを実施するほか、事業者によるワークショップを開催するなど観光客数増加に向けた取組を推進した。 令和6年度実績は算定中であるが、引き続き、対馬おもてなし協議会を中心として、満足度調査による現状分析や個別事業者に対するフィードバックを行いながら、市の補助金を活用した設備の改善につなげるなど、市とも協力して事業者の受入態勢の充実を通じた観光満足度向上を支援していく。
	実績値②	537,122人 (H30年)	103,474人	129,403人	205,188人	算定中		進捗状況	
	達成率②／①		36%	39%	48%	—		遅れ	